

平成30年5月定例教育委員会会議録

平成30年4月24日 定例熊谷市教育委員会を教育委員会室に招集する。

- 出席者
野原 晃、齋藤 洪太、本塚 雄一郎
- 出席事務局
教育次長 小林 教子
教育総務課長 田島 斉
学校教育課長 渋谷 昌美
社会教育課長 鶴田 敏男
社会教育課文化財保護・
市史担当副参事 吉野 健
中央公民館長 森田 安彦
文化センター所長 田中 博
教育総務課副課長 田谷 憲司
教育総務課主幹 増田 彩子

13時30分 5月定例教育委員会開会

教育長から、平成30年5月定例熊谷市教育委員会の開会の宣言があり、西山教育長職務代理者及び加藤委員の欠席の報告があった。

本会議の会議録の署名人には、本塚委員が指名され、3月臨時教育委員会及び4月定例教育委員会の会議録について、委員の承認を得た。

教育長から、議案第21号は、人事案件であることから非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

日程第1(報告第5-1号) 寄附申出について

教育総務課長から、3月11日から4月10日までに、ふるさと納税で「熊谷教育の推進のため」として、9件、計36万5千円の寄附申出、また、中央公民館長から、3月16日に、「けやき大学陶芸科及び定期利用陶芸団体の利用に供するため」として、市内在住の匿名の方から、電気陶芸窯の寄附申出があったとの報告があった。

日程第1(報告第5-2号) 5月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、5月18日の新堀小学校体育館の竣工式及び各教育委員会連合会の総会の予定について、報告があった。

日程第2（議案第21号）

（非公開）

（議案は原案どおり可決）

日程第2（議案第22号）「熊谷市史編さん大綱」の改定について

文化財保護・市史編さん担当副参事から、平成29年11月26日付けで、熊谷市教育委員会教育長から熊谷市史編さん委員会委員長宛に、「熊谷市史編さん大綱」の市史編さん年次計画の一部変更に係る改定について諮問した件について、平成29年11月26日及び平成30年3月28日開催の熊谷市史編さん委員会において審議された結果、同委員会委員長から改定が適当である旨の答申がなされた。これを受けて、教育委員会に諮るものであるとの説明があった。特に質疑はなく原案どおり可決された。

日程第3（その他）後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、3月19日から4月10日までに、後援等承認決定した事業について報告があった。

日程第3（その他）平成29年度英語教育実施状況調査の結果について

学校教育課長から、全国の公立中学・高校に通う生徒の英語力を調べた平成29年度英語教育実施状況調査の結果についての新聞記事の資料に基づき、熊谷市の中学3年生の結果の報告があった。英検3級程度以上の英語力がある中学3年生の割合が、全国では40.7%、埼玉県では41.9%、また、全国1位である福井県が62.8%であるのに対して、熊谷市では、61.6%と非常によい成績であった。これは、ラウンドシステムの実施、英語教諭への研修等、熊谷市の英語教育のこれまでの取組の成果であること、更に今年度は、自治体での導入は全国初となるタブレット端末を活用した、4技能スコア型テストGTECを実施する予定であり、今後も生徒の英語力の向上を目指したいとの説明があった。

日程第3（その他）熊谷市運動部活動指導員について

学校教育課長から、平成30年5月1日付けで、熊谷市運動部活動指導員2名を、市立中学校2校に配置する予定であると報告があった。

（質疑）

本塚委員から、日本の学校職員の長時間労働は、部活動が大きく関わっている事について、また、学校職員の働き方改革が急務だとされているが、一方では、学習指導要領により学校の業務量が増えているという現状についての発言があった。

日程第3（その他）平成31年熊谷市成人式開催要領について

社会教育課長から、平成31年熊谷市成人式の開催について、日時や会場等、概要の説明があった。

他には報告はなく、教育長の宣言により、平成30年5月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

（14時10分 閉会）

署名

教育長 野原 晃

委員 本塚 雄一郎